

# 子育てを支える土台

## 登米市も少子化が進行 5年前から7・5%減少

市内の6歳未満の子どもは4,422人で、全人口のおよそ5%になります(4月1日現在)。全国的に少子化問題が深刻化している中、市でも年々出生数が減少しています。昨年の出生数は713人、平成11年と比較するとマイナス58人、7・5%減っています。市ではこうした問題を踏まえ、子育て支援に力を注いでいます。

## 新規・引き継ぎ事業など さまざまな子育て支援

市の子育て支援事業は、国、県事業に加え、各種検診や出産一時金、医療費助成、特定不妊治療費助成など、旧町から引き継がれた事業や、市として新たに設けた事業などさまざまあります。その中で合併時に利用時間が統一、延長された保育所・児童館事業を紹介します。

## 希望者には利用時間を延長 一時保育サービスの実施も

市内の保育所(園)は、市立、私立(認可)ともに9カ所で、認可外の私立保育所は11カ所あります。隣接する栗原市よりも13カ所、定員も

652人多くなっています。

4月1日現在で、29カ所の定員総数1,432人に対し、1,318人が利用しています。合併したことで、市内すべての保育所へ通えるようになり、保護者にとっては、選択の幅が広がり利用しやすくなっています。

通常の保育時間は、月曜日から土曜日までの毎日午前8時から午後4時まで統一されていますが、市立私立(認可)の18カ所のほとんどの保育所は、希望者には午前7時30分から午後6時30分まで時間を延長しています(今年度は保育所によって延長時間が異なりますが、来年度から統一されます)。国の補助を受け、さらに延長している保育所もあります。

時間延長保育は、子育てと仕事を両立している家庭にとっては、安心して仕事ができる制度です。また、普段は家庭で子育てしている保護者

が、病気や急用などにより一時的に子どもを預ける「一時保育」も4カ所で実施しています。一時保育は、半日単位で利用でき、利用者からは便利な制度と喜ばれています。のほか、幼稚園の子育て支援策として、市内16幼稚園のうち、11園で預かり保育も実施しています。

これからも市では、いつでもも利用できる保育サービスの充実に努めて



放課後児童クラブでは、年齢や学校が違う子どもたちが分け隔てなく接しているため、社会性が養われ健全育成につながっています

いきます。



千葉 ゆりさん (31歳)  
石越町・渋川

5歳の長男と3歳の長女を0歳から預け、市内の会社に勤めている千葉さんは「通常は夕方5時過ぎに迎えに行きますが、残業のときは6時30分ころになってしまいます。土曜日勤務のときもお世話になっていますので、大変助かっています」と話します。延長保育は、少子化問題解決に大きな効果が期待されています。



安心して仕事を  
してください



米谷保育所保育士  
齋藤 郁子さん

家庭で育児ができれば一番良いことですが、仕事をしなければいけない環境の保護者が数多くいると思います。預けられた子どもたちは、友達や保育士と毎日元気に遊んでいます。

保育所では、預けられたお子さんを責任を持って保育してほしいです。

学年関係なく仲良  
く勉強しています



米山児童館放課後  
クラブ指導員  
小林 秀子さん

児童館利用は、隣接する米岡小学校の児童が多かったのですが、合併後は町内の3小学校からも児童が集まります。クラブでは、仕事で時間が無く保護者が見てやれない宿題を、学年関係なく全員で教え合いながら勉強します。牛乳パックなどで小物入れを作るなど、施設でしかできない遊びも教えています。



少子化問題を最重要課題の一つとして子育てをサポートしていきます。子どもはまちの「宝」です

## 未体験の遊びや 異年齢との交流

市では、児童館5カ所、子育て支援センター6カ所、学童保育、幼児クラブ、子育て教室など、さまざまな事業を実施し、子育て家庭の支援をしています。

また、児童館、子育て支援センター、公民館などを利用した施設の12カ所では、保護者が日中仕事などで保護指導できない小学1年生から3年生までの児童を対象に、「放課後児童クラブ(保育)」を実施しています。

平日の利用時間は、学校終了時間から午後6時30分までで、土曜日と学校休業日は、午前7時30分から午後6時30分までです。保護者の要望を受け、合併を機に延長されたものです(今年度は地区の状況により時間が設定されています)。

家庭では体験できない遊びや異年齢との交流が深められることから、希望者が多い事業となっています。

## 子育てをサポートし 子どもの元気な声を

このように、市ではさまざまな事業を通して子育てをサポートし、安心して子育てや仕事ができる環境を整えています。子どもはまちの「宝」です。これからもたくさん子どもが生まれ、元気な子どもの声が響くまちを目指していきます。